

第 6 回

開催日時	平成26年3月28日（金）19:00～20:40	
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室	
出席者	委員	中村忍, 和家貴之, 小橋康德, 美野田龍敬, 小松崎育, 田家英雄, 田中真琴, 山本香織, 中根絵美, 東崎紀子, 佐久間知美, 吹野久美子, 小林一裕, 會沢勇夫, 井野由美子（敬称略, 順不同）
	傍聴者	0名
	その他	
	事務局	学校教育課再編担当
会議次第	<p>【議事】</p> <p>1 専門部会報告</p> <p>2 校章について</p> <p>3 校歌について</p> <p>4 通学の現状について</p> <p>5 その他（次回開催等について）</p>	

第6回 茨城町立小学校統合準備委員会 会議要旨

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

議事（1）専門部会報告

委員長

それでは、議事に入ります。

議事（1）専門部会報告について、事務局からの説明を求めます。

事務局

1月30日(木)に第3回目の学校運営部会を開催した。学校運営部会は、教頭部会、教務主任部会、生徒指導部会、養護教諭部会、学校事務部会、一年担任部会、体育主任部会の7つの専門部会で構成されているが、各部会において平成25年度における作業の進捗状況と平成26年度における作業計画案や課題について協議・報告が行われた。

教頭部会では、教育目標、校訓、目指す児童像・学校像・教師像等に係る素案づくりを行ってきた。今後は、これらの協議を継続するとともに、学級編成の方法や学校間の交流事業等についても協議していく予定である。

教務主任部会では、学校行事等について協議をしている。平成26年度の4校の宿泊学習は、上野合小学校、沼前小学校及び駒場小学校の3校が合同で実施し、川根小学校は単独で実施する案を検討している。青葉小学校として初めて実施する入学式をはじめ各種行事の内容や実施時期等の詳細はこれから協議していく予定である。

生徒指導部会では、学校における約束・決まり等について協議している。統合小学校にはスクールバスが導入されることからスクールバス利用上のルールを検討したり、通学ルートやヘルメットの着用等について検討していく予定である。

養護教諭部会では、保健安全年間計画、性教育年間計画、薬物乱用防止教室、定期健康診断計画等について協議を進めている。

学校事務部会では、4小学校の学校徴収金の費目・金額・徴収方法等の現状を確認のうえ、それらの統一化に向けた準備を進めている。また、統合後に使用する備品等の調整も順次進めていく予定である。

1年担任部会では、入学のしおり作成や教材選定等を行っており、統合初年度の新入学生への対応に向けた準備を進めているところである。

体育主任部会では、統合初年度の運動会の開催時期等について検討してきた。現在、川根小学校は春に運動会を開催し、その他の3校は秋に開催しているが、統合初年度は少し落ち着いた頃合いを見計らって秋に開催し、平成28年度以降の開催時期は順次見直しを含めて検討する予定である。

委員長

議事(1)専門部会報告について、事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について、質問・意見等はありませんか。

特に質問・意見等がないようなので、専門部会報告から少し外れるが聴きたいことがある。地域の保護者の間で青葉中学校のスクールバスについて話が出ているのだが、青葉中学校のスクールバスの利用対象地区はなぜ9kmに定まったのか、そして、1年間は試行的にバスを運行し、その後は利用対象地区の見直し等を考えているようであるが、それらの理由について教えてほしい。

また、小学生のヘルメットの着用に関する町としての考え方についても教えてほしい。

事務局

スクールバスの利用対象地区は、桜丘学区については学校が統合しても通学距離が変わらないことからこれまでと同様に通学してもらい、桜丘学区の最長通学距離である9kmを基準に考えて、9

kmを超える宮ヶ崎第四区，宮ヶ崎第五区，宮ヶ崎日進区，網掛区，昭和区を対象地区とすることで決定した。ただし，青葉中学校の開校の翌年度には青葉小学校が開校し，青葉小学校向けのスクールバスを導入するので，その際には小学校と中学校でスクールバスの併用ができるかを検討し，その中で9kmという利用対象基準を再検討することになっている。

ヘルメットについては，既に長岡小学校と石崎小学校の全校児童が登下校時に着用している。町長は，安全・安心なまちづくりを基本理念に掲げており，通学の安全のみならず災害時における安全確保も目的として，町内の全児童にヘルメットを配布するための予算を次年度予算に計上した。

ただし，既にヘルメットを導入している学校がある一方で導入を検討している段階の学校もあり，学校間で温度差があることも事実である。町として一方的に着用を義務付けるのではなく，保護者や実際に着用する児童も含めて，ヘルメットの着用の必要性について理解を深めていただき，教職員や保護者会等と相談をしながら平成26年度中の導入を考えているところである。

(2) 校章について

委員長

議事（2）校章について，事務局からの説明を求めます。

事務局

校章の募集結果について説明する。平成26年2月6日（木）から平成26年3月14日（金）までの37日間にわたり募集し，応募総数は152点であった。内訳は，小学生からの応募が137点，中学生からの応募が5点，教職員からの応募が3点，一般の方からの応募が7点であった。152点の中には人物等が描画された作品が8点あり，これらの応募作品は校章のデザインには適さないため，応募者には申し訳ないのだが事務局の判断により無効とさせていただいた。そのため，皆様に配布した応募作品一覧表には152点ではなく，144点の作品が掲載されていたと思う。

校章の募集とあわせて青葉小学校のイメージカラーについても任意で回答していただいた。1人で複数の回答をしている場合があったため，延べ204件の回答をいただいたのだが，件数が多かった順に緑が79件，青が58件，黄緑が20件であった。

会議に先立ち，委員の皆様には郵送による第1次投票を依頼したが，まだ全員の投票が済んでいない状況である。投票が済んでいない方は，近日中に投票をお願いしたい。

本日は，どのような方法で最終的な1点を選定するかについて決めたいのだが，青葉中学校の校章案を選定した際には，第1次投票で1票以上入った作品を対象として第2次投票を行い，その後，点数を絞りながら段階的な投票を実施して最終的な1点を選定した。青葉中学校の校章案を選定した時と同様な方法で選考作業を進めて良いかについて皆様の意見を伺いたい。

委員長

議事（2）校章について，事務局からの説明が終わりました。

どのような方法で選考作業を進めるのかということであるが，校名案を選定した時と同様な方法を採用ということか。

事務局

はい。

委員長

青葉中学校の校章案を選考した際には、すんなりと選定できたのか。

副委員長

委員の皆様の意見を伺いながら段階的に選考していった。

委員長

応募された校章デザインの中から1点を選定し、それがそのまま校章になるのか。

事務局

選定された校章案を基にして、専門家にオリジナル性が損なわれない程度にデザインを補正していただき、最終的な校章を制作する予定である。

委員長

事務局としては、青葉中学校の校章案を選定した時と同じ方法を探りたいということだが、それでよろしいか。

—異議なし—

(3) 校歌について

委員長

議事(3)校歌について、事務局からの説明を求めます。

事務局

校歌については、作詞・作曲をどなたかに依頼して制作することになる。どなたか良い方がいれば推薦していただき、それをもとに事務局の方で交渉等を進めていきたいと考えている。

委員長

前回の会議において、知り合いの歌手がいるという話があったが。

事務局

先日、その方に会う機会があり、校歌の作詞・作曲を依頼した。その方の仕事の都合等もあるので、可能な状況ならばお願いしたいという話をした。ただし、その段階ではまだ正式に平成26年度の予算が決定していなかったため、あくまでも事前調整の段階であることを前提に話をした。やはり、事務所を通して依頼すると話が面倒になるとのことであり、もしこのまま話を進める場合には直接連絡をいただきたいとの返事をいただいた。また、行政機関であるため、予算をいくらでも出せる状況ではないことも話しておいた。

その方に正式に依頼するというのであれば、このまま交渉を進めるのは可能な状況である。ただし、本人の仕事の都合や予算の問題等で最終的に引き受けていただけるかどうかは分からない。したがって、もしこの方以外にも推薦したい方がいる場合には、その方も含めてどなたに依頼するのかを協議していきたいと考えている。

委員長

現在、交渉しているのはその方だけですね。

事務局

はい。

委員長

この場で誰に依頼するかを決定しなければならないのか。

事務局

本日中でも次回でも良いが、皆様の了解のもと方向性が定めれば、事務局の方でその後の交渉や調整作業は行いたいと考えている。

委員

その歌手の方と交渉ができる状況になったことは良かったと思う。しかし、統合準備委員会として、正式にその方に依頼するということが良いのか。

事務局

事務局としては、統合準備委員の皆様の総意のもと交渉を進めたいと考えている。例えば、まずはこの歌手の方に依頼して、断られた場合には別の方に依頼するなど、色々な考え方があると思うので、そうした方向性を皆様に協議していただきたいと考えている。

委員

今交渉している方は、事務所を通して依頼するとおそらく何百万円もかかるはずである。

事務局

以前に聴いた話だと作詞・作曲のプロに依頼すると、200万円から300万程度はかかるということである。

委員長

校歌は未来永劫残るものであるため、統合準備委員会でもう少し時間をかけて協議したうえで依頼先を決定するという考え方もあるし、統合準備委員会の中だけで決定するのではなく、保護者の方々にアンケートを実施し、その結果を反映して依頼先を決定するという考え方もある。

青葉中学校の校歌制作の際には、どのように決定したのか。

事務局

いくつかの案が出たが、最終的には統合準備委員会の中で決定した。

委員長

もう少し考える時間はあるのか。

事務局

まだ時間はある。

委員

まずは、今交渉を進めているその方に正式に依頼するかどうかをこの場で決定すべきである。その方をお願いしたいと思っても断られる場合が当然あるので、まずはその方との交渉を進めてもらった方が良いと思う。

事務局

その方に断られた場合には、次の依頼先を考えましょうということである。

委員長

それでは、今交渉を進めている方に正式に作詞・作曲を依頼するということによろしいか。

—異議なし—

(4) 通学の現状について

委員長

議事(4) 通学の現状について、事務局からの説明を求めます。

事務局

統合小学校にはスクールバスを導入する予定であるが、まずは4小学校の通学の現状について説明する。

《通学距離：平成24年5月時点》

- ・川根小学校 平均2.6km, 最長6.0km (小幡(樹学園付近))
- ・上野合小学校 平均2.2km, 最長4.2km (千貫桜)
- ・沼前小学校 平均2.5km, 最長5.0km (昭和)
- ・駒場小学校 平均1.2km, 最長3.0km (神宿)

※指定校変更者のデータは除く

《通学方法》

- ・川根小学校 徒歩115人, バス76人, 自転車14人, 車送迎28人
- ・上野合小学校 徒歩142人, 車送迎1人
- ・沼前小学校 徒歩128人, 車送迎3人
- ・駒場小学校 徒歩117人, 車送迎1人

《参考データ》

- ・奥谷交差点 ~ 茨城郵便局前 ~ 駒場小学校前 ~ 青葉小学校 2.2km
- ・奥谷坂上交差点 ~ 町営奥谷住宅 ~ 駒場小学校前 ~ 青葉小学校 2.0km
- ・立原スタンド ~ あいの家 ~ 小堤セブンイレブン ~ 青葉小学校 2.0km

昨年6月に、統合小学校に係る保護者を対象としてアンケートを実施し、その中に通学に係る設問を用意しておいた。「お子様の健康や体力増進などをふまえ、何kmぐらいまでは徒歩で通学させたいとお考えですか」という問いには、2kmと回答した方が55.0%、3kmと回答した方が34.9%であった。

さらに、「統合小学校はスクールバスを導入する予定ですが、スクールバスは何km以上から利用するのが良いと思いますか」という問いには、2kmと回答した方が26.4%、3kmと回答した方が46.1%であった。

これらの結果から、徒歩での通学は概ね2kmまでで、それ以上の距離はスクールバスでの通学を希望している方が多いということが分かる。こうしたアンケート結果もふまえたうえで、スクール

バスについての協議を進めていきたいと考えている。

委員長

議事（４）通学の現状について、事務局からの説明が終わりました。

スクールバスを含めた通学問題については、アンケートの結果も参考にしながら協議を進めていく必要があると思う。

まず、委員の皆様伺いたいが、皆様の自宅から統合中学校までの距離はどの程度あり、通学手段等についてはどのような考えを持っているのかを伺いたい。

委員

私の家から統合小学校までの距離は2kmもないので、徒歩で通学できる状況である。

委員

私の家は秋葉であるが、先日距離を測ったところ統合小学校までの距離は約3.0kmであった。途中には、民家等が全くない地点があり安全面で少し不安を感じているので、できればスクールバスでの通学を希望している。

委員

私の家は奥谷であるが、統合小学校までは2.2kmである。徒歩通学で問題ないと考えている。

委員

私の家は駒場地区であるため統合小学校まで1kmもない。ただ、スクールバスが運行するので、徒歩で通学する児童とスクールバスが交錯することによって事故が発生しないかが心配である。

委員長

アンケートの結果はもちろん重要であるが、それをふまえたうえで協議はどのように進めるべきか。

委員

アンケートの結果を最大限尊重しようとしても、現実的にできることとできないことがあると思う。スクールバスが何台導入できて、どのルートを実行して、どこを停留所にするのかなど、事務局だけで考えていくのは難しいと思うので、PTAや地域の方々と一緒になって考えていくべきだと思う。また、通学距離を基準として利用対象地区を考えるのではなく、ルートごとにどのような通学方法が良いのかを先に見定めてから、その後に詳細な協議を行うべきだと思う。

委員

事務局から、町として現実的にできる範囲を示してもらい、それを基に協議しないと話が進まないと思う。

委員

理想的な運行体制を考えながらも、町の予算はこれだけだから、この地区には本来バスが2台必要だけれども運用を工夫して1台でカバーできないかというような、現実的な協議をしていかなければならないのではないかと。

委員

我々が、何人乗りのバスを何台ぐらい必要だと言っても町の予算は決まっているのだから、町と

してはこの程度までは用意できそうだから、この範囲で利用対象地区等について協議をしてもらいたいという形で事務局から提示してもらえるとありがたい。

事務局

予算の問題は当然あるが、事務局としていくつかの案を提示させていただき、最終的な落としどころを様々な角度から協議していただければと考えている。そして、関係する保護者の方々に対しては説明責任があるため、なるべく早い時期に事務局案を提示していきたいと考えている。そして、各地区の児童数、道路事情、子供達の体力面などを総合的に判断しながらスクールバスの運行について検討していきたいと考えている。

委員長

委員の皆様には、これから入学式や保護者会など多くの人と接する機会があると思うので、多くの方から幅広く意見を聴いていただき、統合準備委員会でそれらの意見を反映していただければと考えている。

事務局

ここでの協議では、先行して導入する青葉中学校のスクールバスの状況も参考にしながら、時間をかけて安全性を追求しながら協議していく必要があると考えている。

委員

青葉中学校のスクールバスの運行時刻や停留所については決定したのか。

事務局

それらについては決定しており、在校生には3月24日（月）に学校を通じて保護者に関係資料を送付し、新1年生の保護者には同日に関係資料を郵送した。運行は、4月2日（水）の新任式の日から開始する。

停留所は、全部で3ヶ所設置することに決定した。1ヶ所目は香取学習館、2ヶ所目はいばらき聖苑前の農免道路上、3箇所目は網掛の県道大洗・友部線の坂を上がりきったところのごみ集積所の脇の余剰地である。

運行回数は、1日あたり登校時2回、下校時2回を基本とするものの、学校行事の有無によっては運行回数が登下校とも1回になる日もある。登校時の運行時刻は、第1便が香取学習館に6時半頃に到着し、いばらき聖苑前、県道大洗・友部線を通って学校に7時頃に到着する。第2便は7時半頃に香取学習館に到着し、学校には8時頃に到着する。下校時の運行時刻は、季節によって変化するが、4月については第1便が16時20分頃に学校を出発し、第2便は18時頃に学校を出発する。

運行時刻は1月単位で計画し、その時々学校の行事予定等を考慮したうえで月毎に決定していく予定である。

委員

統合小学校向けスクールバスを運行するにあたり、歩車分離を考慮して、歩道の整備やスクールゾーンによる規制等を考えた方が良いのではないか。

事務局

駒場小学校の正門前の道路には歩道の設置を予定している。また、統合小学校内には、徒歩で通学してくる児童とスクールバスが交錯して事故が発生せぬようロータリーを設置する計画である。

統合小学校の開校に合わせて環境の整備を進めているところであるが、保護者の方々から様々な心配の声もあると思うので、そうした話があった場合には統合準備委員会に持ち寄っていただき、様々な角度から協議していければと考えている。

議事（５）その他（次回開催等について）

事務局

校章については、次回の委員会で投票を実施し、最終的な校章案を選定できればと考えている。校歌については、事務局の方で正式に交渉を進めさせていただき、次回、状況報告をさせていただきたいと考えている。また、スクールバスについては、これから時間をかけて協議を重ね、秋口から年内には運行案を決定できるよう協議を進めていきたいと考えている。

次回の開催日程は、４月下旬あたりで調整したいと考えている。

最後に１点だけ確認させていただきたい。年度が変わると、委員の皆様の中には任期満了に伴い各種団体の役員を退かれる方がいると思うが、同じメンバーで引き続き協議をさせていただくことは可能でしょうか。本日、学校の行事で欠席されている校長先生の中には、異動や退職に伴い統合準備委員を退任される方がいる。それ以外の委員の皆様で、もし委員を継続することが難しい方がいれば調整をするが、可能であればあと１年間同じメンバーで協議をさせていただきたいと考えている。

特にそうした方がいないようなので、校長先生方を除いてはこのメンバーで継続させていただきたいと思う。